

# 『脆弱性骨折に対するデータベースの作成と 骨粗鬆症介入率について』

## に対するご協力をお願い

研究の目的と意義	2020年4月より脆弱性骨折に対するデータベースの作成を行なっており、骨粗鬆症介入率についての検討を行うためです。
研究の方法	対象患者の診療記録から骨折部位、骨粗鬆症治療介入率、介入できなかった症例についての原因の検討を行います。
対象者	2020年4月1日～2022年3月31日の期間に、当院で脆弱性骨折の診断で入院加療を行なった方となります。
利用する試料/情報	年齢、性別、骨折部位、骨密度検査結果、骨粗鬆症治療介入の有無、使用薬剤（骨粗鬆症治療薬および他に投与中の薬剤・投与量）、eGFR、認知症の有無です。
利用する試料/情報の取得方法	診療で得られた診療録等を利用します。
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 院長 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	当院単独研究
試料/情報の院外提供	該当なし
結果公表	第25回日本骨粗鬆症学会にて発表します。
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合または一度研究参加に同意された後に同意を撤回される場合は、西暦2023年9月15日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 リハビリテーション部 理学療法士/内海綾乃
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表) 済生会横浜市東部病院 リハビリテーション部/内海綾乃